

鳴門市鳴門中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習指導の在り方
 ①基礎的・基本的な知識・技能を伸ばし、個に応じた指導を充実させる。
 ②自分の課題を見つけ、対話的な活動を通じて解決していく態度を育成する。

学力向上検討委員会構成

- 学力向上推進員 委員
 校長:中山 祐次 教頭:櫻井 篤史
 森本 千晶 教務主任:森 義雄 研修主任:森 義雄
 1年主任:大浦史雄 2年主任:吉岡秀吾 3年主任:濱田加容子

校長

中山 祐次 印

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能の習得をめざし、まじめに取り組むことができる。 ●習得した知識・技能を定着させるまで粘り強く学習に取り組むことができていない生徒がいる。	・知識・技能の習得に向け、粘り強く学習に取り組むことができる。 ・家庭学習の習慣と、望ましい学習方法を身に付ける。	・生徒が集中して取り組めるように、短時間ごとに区切って活動させるなどの授業展開を考える。 ・キュビナや自主学習ノートの活用を充実させる。	・新研究を日々の学習に活用させる。(2年)	・短時間ごとに区切って活動させるよう授業展開を考えることができた。(2年) ・新研究を毎日の課題とし、家庭学習を行わせることができた(2年)	・テストに向けての学習計画を立てさせることにより、より充実した家庭学習を行わせる。(2年) ・キュビナのさらなる活用を図る。(2年)

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題解決に向けて、友達の意見を聞いたり、自分の意見を発表したりすることができる。 ●思考・判断を要する課題に対して、最初から取り組もうとしない生徒が見られる。	・授業の中で、自分の考えを表現することができる。 ・課題解決に向けて、最後まで粘り強く取り組み、根拠や理由を明らかにしながら伝えることができる。	・単元の振り返りやレポートの作成、作品づくりなど、記述したり表現したりする活動を全教科で積極的に取り入れる。		・タブレットを用いた班活動を多く取り入れることで、作品作り等に積極的に取り組ませることができた。(2年)	・意見発表で終わることなく他者の意見を取り入れることでさらに自分たちの考えを深めていける活動を考える。(2年)

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組むことができ、教師の話の聞き、理解しようとする姿勢が見られる。 ●生徒会が企画した「3分前復習」に全校生徒で取り組んでいるが、徹底できていない。 ●将来の夢や目標に向けての主体的な努力ができていない生徒が少数。	・3分前復習に意欲的に取り組むことができる。 ・将来の夢や目標をもち、その実現に向けて授業や家庭学習に主体的に取り組むことができる。	・短時間で取り組める課題を生徒に指示し、達成できるように支援する。 ・「鳴潮」を活用し、月ごとに目標をたて、将来の見通しをもって学習に取り組めるようにする。		・3分前着席を奨励し、チャイムと共に授業が始まる体勢を取ることができた。(2年)	・一部着席の遅い生徒もいたので、引き続き声かけをしていく。(2年)

令和6年度 学力向上ロードマップ

